

ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)情勢月報(平成29年5月分)

平成29年7月

在ボスニア・ヘルツェゴビナ日本国大使館

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

(2) エンティティ、特別区

ア スルプスカ共和国(RS)

イ ブルチュコ特別区

※当該月、ボスニア・ヘルツェゴビナ連邦(BH連邦)に関する主立ったニュースはなし。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構 (EU加盟プロセスを含む)

(2) 二国間関係

3. 経済

(1) 経済指標

(2) 経済政策、公共事業

(3) 経済協力

(注: 以下は、現地紙など公開情報を取りまとめたものです。)

1. 国内情勢

(1) 国家レベル

● BH議会上院ボシュニャク系、クロアチア系提出の選挙法改正法案に対しVNIを行使(4日)

4日、BH議会上院は、クロアチア系議員団が4月28日に提出したBH大統領評議会、BH連邦議会上院及びモスタル市議会に関する選挙法修正案について、緊急審議手続きによる取扱を、賛成多数により可決した。採決では、クロアチア系全議員及びセルビア系国政野党であるSNSD及びDNSの議員が賛成票を投じ、ボシュニャク系全議員とセルビア系国政与党のSDSが反対票を投じた。この可決に対し、ボシュニャク系議員団は、クロアチア系が多数派のカントンにおいて、ボシュニャク系

有権者の権利が侵害される可能性があるとして「民族の死活的利益(VNI)」による保護手続きを開始。これにより、BH憲法裁判所において、VNIの申立ての妥当性が判断されるまで、本法案の議会における取扱は中断される。

● BH議会下院、燃料税増税法案に対する否定的意見の採択(10日)

10日、BH議会下院は、BHがIMFの拡大信用供与措置(EFF)による第二回ディスバースを受けるために必要とされている、燃料税増税関連4法案に対する経済・予算委員会による否定的意見を賛成多数で採択した。なお、本案は、4月10日、20日と同議会で既に2度法案成立を否決されているが、本否定的意見の採択により、同法案の議会における審議手

続きが終了となる。採決においては、セルビア系国政与党「変革のための同盟」、DF、SDPや独立系候補等に加え、SDA議員クラブから離脱した3名が否定的意見に賛成票を投じ、SDA、SBB及びHDZが反対票を投じた。SNSDと、SDA議員クラブから離脱し進退が注目されるメフメトビッチSDA議員は棄権した。

なお、13日、SDA幹部会は、先に除名処分としたシェピッチ議員に続いて、同意見に賛成票を投じたアフメトビッチ議員及びソコロビッチ議員を正式に除名処分とした。

● イバニッチ大統領評議会議長、EUの質問状に対する作業加速化に関する会合を実施(24日)

24日、イバニッチ大統領評議会議長(セルビア系)は、BH大統領評議会メンバー、BH国家機関、各エンティティの代表者を集め、昨年12月に欧州委員会から受領した質問状の回答準備の加速化について協議した。

イバニッチ議長は同会合後、「最大の問題は、各レベルの回答準備が終わっていても、国レベルでの集計が未だ始まっていないことである。コミュニケーション不足によって長い時間を無駄にってしまった。」と述べた。なお、同質問の回答までに、セルビアは45日、モンテネグロは4ヶ月、クロアチアは3ヶ月を要した一方、BHは質問状の受領から既に6ヶ月が経過している。

(2)エンティティ、特別区

ア スルプスカ共和国(RS)

● スレブレニツァ市議会、前与党による政治任命幹部の解任(4日)

4日、スレブレニツァ市議会が開催され、4月28日の会合で市議会与党が交代(SNSDを

中心とする連立からSDSを中心とする連立)したことに伴い、前与党による市役所及び市公社の政治任命幹部等が解任された。かかる状況に関し、同市のグルイチッチ市長(セルビア系)及び同市SNSD支部長はバニャ・ルカを訪問し、ドディックRS大統領(SNSD党首)と会談した。会談後、ドディック大統領は、SNSDは、市議会であと1名を確保し、スレブレニツァ与党に返り咲く旨述べた。

● RS国民議会、リュビヤ鉄鋼会社の株式売却に関する政府決定を否決(17日)

17日、RS国民議会は、プリエドル市にあるリュビヤ鉄鋼会社の株式65%をイスラエル投資グループ社に売却する旨のRS政府決定を否決した。

同売却は、4月13日に、SNSD議員を中心とするRS政府において、連立与党であるDNS閣僚の反対を押し切って決定された。4日には、野党の要求により本件に関する公聴会が開催され、ジョキッチRS産業・エネルギー・鉱業相、売却先となるイスラエル投資グループ社の代表に加え、同じく入札に参加したアルセロール・ミタル・プリエドル社の代表等が出席し、説明及び質疑応答が行われた。その後、11日に、RS国民議会経済委員会が開催され、同売却を取り下げるよう政府に対し要求する旨が決定されていた。

否決後の25日には、パビッチDNS党首がRS政府の売却決定をめぐり、ジョキッチRS産業・エネルギー・鉱業相の辞任を要求する記者会見を実施。これに対し、ドディックRS大統領は、両名の対立はそのうち収まる旨、DNSは31日に実施されるRS政府の不信任決議(後述)に賛成しない旨発言した。

●SDS、党大会を実施。メクティッチBH治安相他が欠席(28日)

28日、SDSはビエリナ市において党大会を実施し、評議委員会メンバー71名を選出した。また、今後、反汚職及びRSの天然資源保護に関する法制化を要求する旨の決議を採択した。なお本大会には、ボシッチBH議会上院副議長(前党首)、タディッチBH議会上院副議長(前副党首)及びメクティッチBH治安相という3名の有力党員が欠席し、党幹部と対立が続いていた両副議長に加え、メクティッチ治安相の欠席は、驚きをもって報道された。

21日、党大会に先立ち、メクティッチ治安相は、SDSプルニャボル市支部からSDS本部への指名人事をめぐる対立を理由として、同支部における役職を辞任しており、これが欠席の理由と見られている。

●RS国民議会、内閣不信任案の否決(31日)

31日、RS国民議会は野党提出のRS政府不信任案に関する特別会合を開催したが、議題の採択において、反対多数により不信任案を議題とすることを否決した。よって、不信任案は審議対象とはならなかった。

本案は、RS野党であり国政与党の「変革のための同盟」が、15日に提出していたもの。しかし、リュビヤ鉄鋼会社の株式売却をめぐるNSDと対立していたRS与党のDNSが賛成しなかったことで否決された。

イ ブルチュコ特別区

●ブルチュコ特別区司法委員会、BH高等司法検察評議会へのトマシュ候補の選出を取消(19日)

19日、ブルチュコ特別区司法委員会は、高

等司法検察評議会(HJPC)へのブルチュコ特別区選出委員に関し、トマシュ候補の選出を取消す旨を決定した。これは、HJPCより、民族バランスの見地からボシュニャク系の委員を求められていたにも拘わらず、4月に所属民族が「その他」にあたるトマシュ委員を選出し、HJPCより変更を求められたことに対応するもの。

●ブルチュコ特別区議会、同特別区司法委員会の解散を決定(24日)

24日、ブルチュコ特別区議会は会合を実施し、同特別区検察局及び司法委員会の2016年活動報告書について協議し、トマシュ候補のHJPC選出問題で、同特別区司法委員会を解散の上、新委員会を発足させることを決定した。

2. 外政

(1) 多国間、国際・地域機構(EU加盟プロセスを含む)

●シャロビッチ副首相兼対外貿易関係相、「一带一路」会議に参加(14-15日)

14-15日、シャロビッチ副首相兼対外貿易経済関係相率いるBH代表団が、北京で開催された「一带一路」国際協力ハイレベル・フォーラムに参加した。

14日には、BH・中国間の開発、インフラ、エネルギー、観光に関する協力協定の署名式が行われた。同署名により、BHは正式に、中国が総額1,000億ユーロを費やす準備がある「一带一路」プロジェクトの一員となった。同副首相は「BHは、今後自国の発展に関して、「一带一路」の枠組みに合致するプロジェクトがあれば、同枠組みから多大な支援を得られ

るようになる。」と述べた。

また、同副首相は、14日にはバノビチにおける石炭火力発電所建設に関する契約交渉、及びダバルにおける水力発電所建設に関して、東方電気集団有限公司と会談を持った。15日には、中国輸出入銀行総経理と、高速道路建設等に対するクレジット供与につき、また、葛洲壩集団股フン有限公司とは、トゥズラ火力発電所第7号機建設に関し、会談を行った。

●インツコ上級代表、国連安保理報告を実施(17日)

17日、インツコ上級代表は、国連安全保障理事会において、2016年10月22日～2017年4月21日のBHにおける平和履行の現状に関する第51回報告を行った。同報告書では、当該期間には、2007年ICJ判決の見直し請求をめぐる対立、BH憲法裁判所の判決を無視した「RSの日」の制定・祝賀や防衛資産の国家への登録に対する反発など、主に政治的な平和履行に対する多くの挑戦があった一方で、欧州統合に向けては、欧州委員会から質問状を受領し、作業に取りかかる等の前向きな動きも見られたことを指摘した。

●サラエボ・ビジネス・フォーラムの開催(22-23日)

22-23日、ボスナ国際銀行とイスラム開発銀行が共催し、BH大統領評議会、BH閣僚評議会、両エンティティの貿易商工会議所が後援した第8回サラエボ・ビジネス・フォーラムが開催され、世界30カ国から約1700名が参加した。

ブクビッチ・ボスナ国際銀行総裁は、閉会の挨拶で「今回、我々はメディアと協力して、戦

争やその他悲しい出来事と歩んできたBHの新しい一面をお見せすることができたと思う。今日、BHは世界でも有数の観光業が急成長している国である。」と述べ、BHの可能性を強調した。

●第二回「安定化・連合協定(SAA)」レビュー会議の開催(31日)

31日、EUとBHの共同議長による第二回「安定化・連合協定(SAA)」レビュー会議が、サラエボにおいて開催された。

会議では、改革アジェンダやSAAにおける実行課題に沿って、政治・経済政策、法の支配、人権、各市場の状況、貿易など多様な分野に関し話し合わせ、BHの欧州統合に向けた進展、問題点及び解決策を協議した。

EUは、BHの行政改革、公共金融管理、雇用、エネルギーや農業等の分野に対し、全国的で、政治サポートを受けた資金的に持続可能な戦略枠組みの構築必要性を強調し、かかる戦略の策定は、EUからの更なる資金援助を可能にする旨述べた。

(2) 二国間関係

●ヴァルストロム・スウェーデン外相のBH来訪(5日)

5日、ヴァルストロム・スウェーデン外相がBHを訪問し、イゼトベゴビッチ大統領評議会メンバー、ズビズディッチ閣僚評議会議長、及び、ツルナダク外相と会談した。

両国外相会談において、ツルナダク外相は、スウェーデンが二国間ベースでBHにとって最大の支援国の一つであることに謝意を表明し、BHのEU加盟プロセスに関する議論では、BHは2017年末ないし2018年初めには加盟候補国の地位を獲得することを目指している

旨述べ、また欧州委員会からの質問票への回答準備状況について説明した。

スウェーデンには約8万人のBH出身者が居住している。そのためもあり、特に対BH経済協力では、独に続くトップドナーとなっている。

●BH・露外相会談(19日)

19日、ツルナダクBH外相とラブロフ露外相が、18-19日にキプロスのニコシアにおいて開催された欧州評議会閣僚委員会後に会談を行った。同会談では、主に経済に関する二国間関係の強化と西バルカン地域及びBHの政治情勢が協議された。会談の席上、ツルナダク外相は、BH上級代表事務所(OHR)の和平履行評議会(PIC)メンバーである露のデイトン和平合意履行に対する支持の重要性と、BH内の合意形成の必要性を強調した。ラブロフ外相は、EU加盟に向けたBHの取り組みに対する露の支援と、BHの全ての政治レベルが露との友好関係促進に積極的であることへの謝意を強調した。

●イー米国務次官補代理による米連邦議会下院におけるBHに関する報告(17日)

17日、イー米国務次官補代理は、米連邦議会下院の外交委員会において、西バルカン諸国の厳しい経済状況と不安定な現状を伝えるとともに、特にBHではRSの離脱を支援している等、同諸国に対し露が影響力を強めており、米国のコミットメントの強化が必要である旨報告した。

これに対し、ドディックRS大統領は、「イー米国務次官補代理は、同諸国に干渉したいだけで嘘を言っている。」と批判し、イゼトベゴビッチ大統領評議会メンバー(ボシュニャク系)も、「かかる露の影響力は存在しない。むしろ、ド

ディックRS大統領による離脱への動きをたしなめる方向に作用している。」と発言。イバニッチ大統領評議会議長(セルビア系)は、「確かに、BHはデイトン和平合意がBHを崩壊させたと考える人々による様々な挑戦によって、問題に直面している。あるグループは、2つのエンティティを取り払って一つの国を目指し、あるグループはRSの独立を目指し、またあるグループは第3エンティティを創設しようとしている。私は、デイトン和平合意によるBHを支持している。」と述べた。

3. 経済

(1)経済指標

●GDP成長率

BH統計局によると、16年第4四半期は、前年同時期と比較して、実質GDPは2.6%の増加となった。

●鉱工業生産高

BH統計局の発表によると、17年4月の鉱工業生産高は、17年3月と比較して、0.7%の増加。

●雇用/失業者数

BH統計局の発表によると、17年3月のBH全体の雇用者数は750,543人。同月の失業者数は501,522人で失業率は40.1%となった。

●平均給与

BH統計局の発表によると、17年3月のBHにおける平均給与(手取り)は854KM(約437ユーロ)となった。

●消費者物価指数

BH統計局の発表によると、17年4月の消費者物価指数は前月から0.3%の減少。

●貿易額

BH統計局の発表によると、17年1月から4月のBHの輸出額は18億5,540万米ドル、輸入額は29億8,800万米ドルとなった。

・輸出相手国上位5カ国(貿易額、17年1月から4月):①ドイツ(2億7,830万米ドル)②クロアチア(2億1,530万米ドル)、③イタリア(2億780万米ドル)、④セルビア(1億7,640万米ドル)、⑤スロベニア(1億6,190万米ドル)参考:日本(27万5,000米ドル)

・輸入相手国上位5カ国(貿易額、17年1月から4月):①ドイツ(3億4,800万米ドル)、②イタリア(3億3,670万米ドル)、③セルビア(3億2,740万米ドル)、④クロアチア(2億9,690万米ドル)、⑤中国(1億9,620万米ドル)参考:日本(2,003万9,000米ドル)

* 上記数値はいずれも原産国及び仕向国による算出。

●観光客数

BH統計局の発表によると、17年4月、BHにはのべ111,694人(うち日本からは622人)の観光客が訪れた(注:宿泊を伴った観光客の総計)。

(2)経済政策、公共事業

●RS・セルビアを結ぶブラトリュブ橋の完工式を実施(26日)

26日、ドリナ川を跨ぎRSブラウナツ市とセルビア・リュボビヤ市を結ぶブラトリュブ橋の建設記念式典が行われ、BHからは、ドディックRS大統領、ツビヤノビッチRS首相(以上セ

ルビア系)、ユースコBH運輸・通信相(ボシュニャク系)が、また、セルビアからはニコリッチ大統領及びプチッチ首相(当時)が出席した。同橋には、1,300万ユーロが投資され、本年8月中に最終完成の予定である。

ドディック大統領は「RSとセルビアを結ぶこの橋は両者の特別な協力関係の賜物である。」と述べ、プチッチ首相は「この橋が完成すれば、ドリナ川両岸に住むセルビア系の人々を結ぶだけでなく、セルビア系とボシュニャク系の人々を結び付けることになり、非常に大きな価値がある。」と発言した。一方、ニコリッチ大統領は橋の役割に加え「いつの日か、セルビアとRSが一つになることを願っている。」と発言した。

●2016年のEBRDのBH向け融資、2億ユーロに上る

10日、シャロビッチ副首相兼対外貿易関係相は、キプロスにおいて開催された欧州復興開発銀行(EBRD)の2017年年次会合においてBHの投資可能性に関する発表を実施。同会合には、世界各国から70以上の経済関係大臣に加え、3,000名以上の企業関係者が参加した。

同副首相によると、BHはEBRDからの貸付金運用率が非常に低い国であったが、昨年は、2億ユーロという記録的な融資を受け、本年も同規模の融資を予定している。EBRDの約60件の案件は、インフラや地方創生、起業支援などに充てられ、これら分野におけるBHの競争力をEUレベルに押し上げることに貢献している。また、同副首相は、保有能力に対して40%程しか活用されていないBHのエネルギー分野に対する対外投資を呼びかけた。会合中には、BHに対する投資の呼び込みとサ

ポートを目的にEBRD投資委員会をサラエボに設置することが合意された。

●BHの公的債務、GDPの約40%(12日)

12日の政府発表によると、BHの公的債務は、昨年1年間で1.18%増加し、2016年末時点でGDPの39.78%に当たる121億KM(約61億8,925万ユーロ)となった。隔週の閣僚評議会ではその内訳が発表され、対外債務が85億3,000万KM(約43億6,317万ユーロ)、国内債務が35億5,000万KM(約18億1,585万ユーロ)であると判明した。

最大の債権者は世界銀行で全体の33.44%を、次に欧州投資銀行の20.99%、国際通貨基金(IMF)の12.25%、パリ・クラブの8.9%、欧州復興開発銀行の7.44%であった。

債務の保有内訳は、BH連邦が全体の54.28%、RSは45.04%、ブルチュコ特別区は0.24%であり、国家レベルは0.44%に留まった。

●バニャ・ルカ市、ユニ・クレジット銀行と負債の借り換え契約

31日付ボスニア・デイリーによると、バニャ・ルカ市は、ユニ・クレジット銀行の現地支店との間に、総額7,300万KM(約3,734万ユーロ)の借り換え契約を結んだ。ラドイチッチ市長は、市の財政が厳しく、借り換えなしでは、現在進行中及び将来的な案件が立ちゆかなくなるという理由を述べた。同銀行は、入札により11銀行の中から選ばれた。ペハール・ユニ・クレジット・バニャ・ルカ支店長によれば、今回の契約はBHの地方自治体との借り換え契約では、最大。

(3)経済協力

●サラエボ、ブティラ下水処理場の稼働開始(22日)

22日、サラエボのブティラ下水処理場が正式に稼働を開始し、EU、世界銀行、BH政府、サラエボ・カントン政府及びサラエボ公益水道会社の協力で進められてきた一連のプロジェクトが完了した。

ダニエルソン欧州委員会近隣政策・拡大交渉総局局長は、水質汚染を低減し、サラエボ市民の生活の質を改善したとしてプロジェクト参加者の努力を褒め称えた。また「EU資金によるこのプロジェクトの主な目的は、以前はミリヤツカ川及びボスナ川に垂れ流しになっていた都市部の下水による地表水の汚染を改善することにあった。このプロジェクトはEU統合とは何かという見本となる案件である。このプラントによって、BHの水処理を、EU基準に押し上げたからである。」と述べた。

●EBRD、サラエボの水道改修に2,500万ユーロを融資(11日)

15日付ボスニア・デイリーによると、欧州復興開発銀行(EBRD)は、サラエボ・カントン上下水道公社に対し、サラエボにおける上水道システムの改修を目的として2,500万ユーロをソブリン・ローン(最終的な返済責任が国家に帰属する融資)にて融資する契約を結んだ。この資金は、上水道管網の改修による無収水率の低減と、公社のサービス・レベルの向上に使用される。本契約は、EBRDの2017年年次会合にて、ブラウン在BH・EBRD事務所長とシャロビッチ副首相兼対外貿易関係相の間で結ばれ、ブラウン所長は「本契約は、無収水率の軽減というサラエボ・カントンにおける最も喫緊の課題の一つを支援する意味で重

要である。またサラエボ市民の水へのアクセスを改善でき、直接的に市民に役立つプロジェクトである。」と述べた。

●円借款案件「ウグレヴィツク火力発電所排煙脱硫装置建設計画」鍬入れ式の開催(15日)

15日、RS内のウグレヴィツク火力発電所において、円借款案件「ウグレヴィツク火力発電所排煙脱硫装置建設計画」の鍬入れ式(工事の安全祈願式)が開催され、小川大使、ジョキッチRS鉱業・エネルギー・鉱業相らが出席した。

本プロジェクトは、日本からの126億円の借款により、BH初となる排煙脱硫装置を同発電所内に建設するもので、三菱日立パワーシステムズ社が工事を請け負う。同発電所はRSの主要電力源である一方、設備の老朽化が進み、また、硫黄含有率が高く低発熱性の褐炭を燃料源にしている。排煙脱硫装置の導入により、大気汚染物質の二酸化硫黄や粉じんを大幅に削減することができるため、同プロジェクトには、BHの環境保全や周辺住民の健康向上への貢献が期待されている。

(了)